



■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ル・サンク上織縮景園前	階数	地上12F
建設地	広島県広島市中区上織町4-13,4-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年5月18日
敷地面積	529 m ²	作成者	道工 登志也
建築面積	336 m ²	確認日	2016年5月18日
延床面積	2,997 m ²	確認者	道工 登志也

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 3.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.7</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 2.9</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.3</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 // LED照明等の採用 // 小流量吐水機能のある水栓や追い焚き機能を採用 / 可能な限りCO₂の排出を削減</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.4</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 / 適切な量の駐車場・自転車置場を確保。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.4</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能表示制度 劣化対策等級(構造躯体等)等級3 維持管理対策等級(共用配管)等級2 / 住宅性能表示制度 維持管理対策等級(共用配管)等級2 維持管理対策等級(専用配管)等級3</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される